

## 平成 27 年度 学校経営計画

昨年度の学校評価や今年度の新しい状況をふまえ、平成 27 年度「学校経営計画」を定めましたので、お知らせします。

領域	テーマ	方策等（ <u>下線部は新規</u> ）	担当部署	評価
学習指導	1 授業改善	全専任教員は授業アンケートを年度途中に実施し、 <u>評価 3.0 以上を実現する。ICT 教育の抜本的改革を計画すると共に、無線 LAN を活用した授業を積極的に行う。</u>	総務・教務部、ICT 室	
	2 教育課程	6 年一貫教育課程について総括すると共に <u>新規教育課程を実施する。</u> 6 年新科目の開設準備及び「E S D」を円滑実施する。	教務部 教育課程委	
	3 協同学習	協同学習について研究開発事業や S G H とも連携しつつ、理論的に再整理すると共に、 <u>後期課程での実践を広げる。</u>	研究部 学習指導委	
	4 Kobe プロ	3.4 年の課題学習・卒業研究入門を実施する。 <u>図書</u> の拡充を図り、 <u>Kobe プロの部門ごとに、教員の担当体制を改革する。</u>	研究部、グローバル教育推進室	
	5 食育指導	給食は前期課程を中心に行う。 <u>次年度 3 年生の実施形態について検討する。アレルギー対策としてエビペン研修を行なう。</u>	食育推進委	
生徒指導	6 自主活動	生徒会執行部活動及び生徒による諸行事（文化祭・体育祭・合唱祭等）を支援する。執行部と副校長懇談会を <u>継続する。</u> また、 <u>グローバルアクションプログラム</u> を支援する。	生徒指導部	
	7 宿泊行事	S G H との関連を明確にしつつ、各宿泊行事を成功させる。 <u>今後をふまえ、宿泊行事検討 WG を立ち上げる。</u> カナダ語学研修を 3 年にも拡大する。	各学年 グローバル教育推進室	
	8 部活動支援	各部への顧問配置を増やす。生徒等の意見・要望を集約し、部活動の改善について検討する。 <u>部室増設構想を策定する。</u>	生徒指導部 各部顧問	
	9 生活指導	シイズソップ育成に関して「互いを認めあう」等をキーワードに、道徳・HR 等を通して <u>学校として組織的な指導を行う。</u>	登下校委、 生徒指導部	
	10 教育相談	スクールカウンセラーと連携した教育相談事業を継続する。QU 活用を定着させ、個々の生徒に応じた学習支援体制を強化する。	保健環境部 教育相談委	
	11 生徒福利	購買部設置を受けて、生徒会・保護者の要望を踏まえながら、 <u>神戸大生協の運営をサポートする。</u>	生徒指導部 保健環境部	
進路指導	12 進路指導	後期課程での進路に関する指導を綿密に行うと共に、各種資料の分析などを通して、情報の組織的共有を図る。	進路指導部 学年	
	13 進路保障	6 年では、生徒の進路希望実現に向けた進路指導・相談を丁寧に行うと共に、進路保障に尽力する。	進路指導部 学年	
	14 キャリア教育	前期課程では、K U トライアルを継続実施する。国際教育との関連を踏まえつつ全学年を通してキャリア教育に力を入れる。	進路指導部 学年	
	15 進路広報	進路情報の公開を継続すると共に、学年保護者会等を通して、 <u>前期課程も含めた生徒・保護者への進路広報活動を強化する。</u>	進路指導部 学年	

研究 政策	16 S G H 研究開発	SGH 指定を受けてグローバルキャリア教育を飛躍的に発展させる。各部会等を円滑に実施し、公開授業研究会等を成功させる。また、 <u>検証評価の体制を整備すると共に、各種評価を実施する。</u>	研究部 グローバル教育 推進室	
	17 S G H 課題研究	SGH「課題研究」については、卒業研究の枠組みを利用して試 行する。4 領域ごとの大学の支援体制を整備する。	グローバル教 育推進室	
	18 S G H 国際交流	S G H 指定を受けてグローバルアクションプログラムを整備する。「留学生 受入れ」「国際交流事業の開拓」等を円滑に進める。	グローバル教 育推進室	
	19 地歴研究 開発	研究開発学校指定 3 年次にあたり、4 年新科目「地理基礎」、「歴 史基礎」の研究開発を本格実施し検証する。 <u>学術会議と連携を 深め、運営指導委員会、公開授業研究会等を円滑に実施する。</u>	研究部 研究開発委	
	20 研究活動	公開授業研究会を S G H と関連させつつ進める。 <u>ユネスコスク ールに加盟をふまえ、発達科学部の E S D 事業に協力する。</u>	グローバル教 育推進室	
危機 管理	21 安全管理	防災訓練を徹底する。神戸市の支援を得て、防災備蓄物資の拡 充を図る。感染症対策、防犯・防災・衛生教育を行う。	防災・安全 管理委	
	22 情報管理	情報管理の改善を図ると共に、必要な情報機器・システムの整 備を行う。 <u>英文ホームページを円滑に運営する。</u>	情報管理委	
	23 施設整備	次年度以降の年度別教室配備計画を策定する。必要な什器を揃 えると共に、ICT 教育環境を充実させる。	施設設備委 ICT 室	
学校 経営	24 人事計画	交流人事に関する新基本方針を策定する。校内では、昇給に関 するルール作り着手する。 <u>ALT の常勤化について、雇用形態 も含め検討する。</u>	管理職	
	25 教員研修	初任者研修・着任者研修の充実を図る。同僚性を高める場とし て、校内の授業公開等を活用する。各種研修出張を支援する。	管理職・主 幹	
	26 財政措置	急増期に対応するため、借入金を継続すると共に、 <u>緊縮財政を 継続する。急減期の財政計画を策定する。</u>	管理職	
	27 事務室連 携	事務室の改組に伴う財政、職員会議参加、電話対応等をはじめ とする事務室との一体的運営を <u>定着させる。</u>	管理職 事務室	
	28 保護者対 応	学年保護者会の持ち方を P T A と共催にする。 <u>PTSA（生徒が参 加する形態）の活動を推進すると共に、副校長が参加する等、 保護者と学校が情報共有できるよう工夫する。</u>	総務部 学年	
	29 適性検査 広報	オープンスクール、K U チャレンジ、文化祭招待、適性検査説明会及び連 絡進学説明会等を通して、検査の広報活動を徹底する。	適性検査対 策室	
	30 適性検査 実施	昨年度の総括をふまえ、問題作成及び連絡検査及び一般適性検 査を円滑に実施する。実施に向けた準備体制を整える。	適性検査対 策室	
大学 連携	31 高大連携	SGH 高大連携委員会と連携し、各種事業を円滑に進める。大学 との高大接続について、 <u>実現に向けた作業を進める。</u>	高大連携 WG	
	32 小中連携	<u>連絡進学に関する広報活動を円滑に進めると共に、実施後の検 証を行う。英語教育をはじめとする小中連携を進める。</u>	小中連携 WG	